

2023年度追手門学院大学自己点検・評価結果

自己点検・評価項目	評価結果	改善すべき点・向上を目指す点
1. 理念・目的		
大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	A	
大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	A	
大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた中・長期の計画その他の諸施策を設定しているか。	A	
2. 内部質保証		
内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。	A	
内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備しているか。	A	
方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	A	
教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。	A	
内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	継続的で効率的な運用
3. 教育研究組織		
大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。	A	
教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	B	継続的で効率的な運用
4. 教育課程・学習成果		
授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	A	
授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	A	
教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	A	
学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	A	
成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	A	
学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	A	
教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
5. 学生の受け入れ		
学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	A	
学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学選抜を公正に実施しているか。	A	
適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	A	
学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
6. 教員・教員組織		
大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	A	
教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	A	
教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	A	
ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	A	
教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
7. 学生支援		
学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう、学生支援に関する大学としての方針を明示しているか。	A	
学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。	A	
学生支援の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
8. 教育研究等環境		
学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。	A	
教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地及び校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設及び設備を整備しているか。	A	
図書館、学術情報サービスを提供するための体制を備えているか。また、それらは適切に機能しているか。	A	
教育研究活動を支援する環境や条件を適切に整備し、教育研究活動の促進を図っているか。	A	
研究倫理を遵守するための必要な措置を講じ、適切に対応しているか。	B	研究インテグリティ等を踏まえた体制整備の継続
教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
9. 社会連携・社会貢献		
大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。	A	
社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	B	適切な社会還元方法の検討
社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
10. 大学運営・財務		
(1) 大学運営		
大学の理念・目的、大学の将来を見据えた中・長期の計画等を実現するために必要な大学運営に関する大学としての方針を明示しているか。	A	
方針に基づき、学長をはじめとする所要の職を置き、教授会等の組織を設け、これらの権限等を明示しているか。また、それに基づいた適切な大学運営を行っているか。	A	
予算編成及び予算執行を適切に行っているか。	A	
法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。	A	
大学運営を適切かつ効果的に行うために、事務職員及び教員の意欲及び資質の向上を図るための方策を講じているか。	A	
大学運営の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	A	
(2) 財務		
教育研究活動を安定して遂行するため、中・長期の財政計画を適切に策定しているか。	A	
教育研究活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立しているか。	A	

評価結果について

S：十二分に実施している（基準を超えている）
A：適切に実施している（基準を満たしている）
B：概ね実施している（概ね基準を満たしている）
C：実施していない（基準を満たしていない）